

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

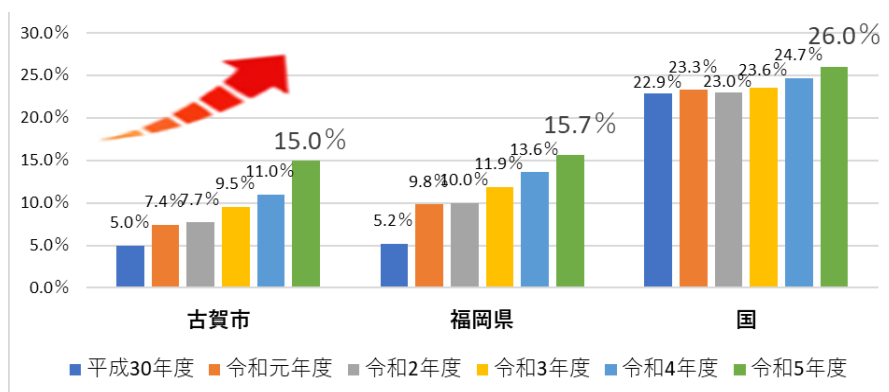
◆目的

人生 100 年時代を見据え、高齢者ができる限り長く自立した日常生活を送ることができるよう、生活習慣病等の発症や重症化の予防及び心身機能の低下を防止するための支援を行うことで、自分らしく健やかに安心して過ごせる社会の構築をめざす。

◆令和 6 年度実施内容

(令和 6 年 12 月末現在)

①後期高齢者健康診査の受診状況



②個別支援（ハイリスクアプローチ）（対象実人数）：626 人

後期高齢者健診の結果より以下について支援対象者を抽出し、家庭訪問や健康教室等により保健指導、健診や医療機関への受診勧奨など重点的に支援を行う。

【低栄養防止】 ※身体フレイル含む

○対象要件：BMI18.5 以下、BMI20.0 以下かつ SMI 基準値以下

○対象者実人数：105 人

《食事・運動講座》

日程	参加者数	実施内容
6 月 25 日(火)	5 人	・インボディ測定 血圧測定
7 月 3 日(水)	6 人	・骨密度測定
10 月 25 日(火)	12 人	・質問票記入
2 月 20 日(木)	実施予定	・食事について【講話】
計	23 人	・体の動かし方について【講話・実践】



【重症化予防】

○糖尿病性腎症

- ・糖尿病のコントロール不良者への対策
- ・糖尿病とフレイル併存者への対策

○その他の生活習慣病（高血圧）

- ・Ⅱ度高血圧以上のコントロール不良者
- ・腎機能不良未受診者対策（eGFR50 未満、尿蛋白（+）以上）

○生活習慣病治療中断者

- ・糖尿病治療および高血圧治療中断者

《介入状況》

令和6年度対象者	対象者数	介入数
糖尿病性腎症	35人	8人
その他の生活習慣病（高血圧）	67人	41人
生活習慣病治療中断者	61人	19人

【健康状態不明者対策】

○対象要件：当該年度、前年度の①健診未受診者、②要支援・介護認定なし、③医療機関受診未受診者

《介入状況》

令和6年度対象者数	質問票等提出者数	支援実施者数	拒否	介入予定数
93人	44人	49人	1人	43人

対象者に「後期高齢者質問票」を実施するとともに、個々の状態に応じて健診や医療機関への受診勧奨、地域包括支援センター等へつなぐ。

③つどいの場等を活用した保健事業（ポピュレーションアプローチ）

【健康教育・健康相談】

地域の公民館等でのヘルス・ステーションや地域出前講座等にて健康測定会（InBody、血圧等）及び健康講話、健康相談を実施。

【フレイル状態の把握】

地域出前講座等参加者に実施した後期高齢者質問票及び InBody 結果によりサルコペニア等のフレイル状態を把握し「食事・運動講座」の案内通知を送付。



④その他関連事業：つどいの場等における介護予防活動

住み慣れた地域で支えあい、最期まで安心して元気に暮らせるまちをめざし、介護予防・生活支援活動の拠点として「地域活動サポートセンター「ゆい」」を設置し、介護予防サポーターの育成や地域活動の支援、社会資源の見える化などを実施。



玄米ニギニギ、ボール運動を取り入れた筋トレ



「ご当地 早口ことば」でお口の健康づくり

【今後の課題と展望】

- ・後期高齢者健康診査受診率は年々上昇しているものの県や国の受診率よりも低い状況。後期高齢者のほとんどが医療機関受診中であるため市内医療機関と健康課題を共有し健診受診の協力を得る。
- ・ハイリスクアプローチでは、リスクが高い健康状態不明者を優先的に訪問している。昨年度実施した健康状態不明者は、支援につながった76%のうち翌年度に死亡、要介護認定を受けた方が半数以上であり、地域包括支援センターなどの社会資源を活用しつつ早期の支援につなげていきたい。
- ・介護予防事業や生活習慣病の重症化予防などの事業が各課それぞれに実施しており、横の連携を強化し整理していく必要がある。